

～農作業時における熱中症の予防や 周辺への配慮について（お願い）～

農作業中の熱中症予防について

- 気温が高い時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業をする。
- 喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給する。
- 単独作業は避け、複数人で作業を行う。時間を決めて連絡をとり合う。
- 帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機などの熱中症対策アイテムを活用する。

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

農作業機の運転について

- 機械に巻き込まれにくい服装をする。
- 安全防護用具（ヘルメット・防護メガネ・防護マスク等）を着用する。
- 走行中・作業中の機械には不用意に近づかない。
- 草刈機使用前に、石やごみ等の障害物を取り除く。
- 農道やアゼを越えての移動は、機械が転倒しないよう直角進入する。（斜め進入しない）
- 道路走行後は速やかに泥土を除去する。
- 清掃・点検などを行うときは必ずエンジンを止める。
- 万一の事故に備えて労災保険に加入する。



トラクターや田植え機は車高が高く（重心が高く）傾斜地や脱輪によって転倒しやすいため、無理な走行はやめましょう。

野焼きについて

- 風向きや時間を考慮する。
- 燃えている間は延焼を防ぐため、その場を離れないようにする。

野焼きは、原則、禁止されています。ただし、作物残さの焼却など、農業を営むためにやむを得ず焼却する場合は、煙や臭い・延焼によるトラブルとならないよう注意してください。

特に、風が強い時や空気が乾燥している時は、火災が発生しやすいため絶対避けてください。

★麦ワラ・稲ワラ等については、焼却を行わず、できる限り、ほ場にすき込むようにしてください。